

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 10

令和3年3月15日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題 | 目指せ1億円産地 出雲アスパラガスのリースハウス第2弾が完成

(ダイジェスト)

令和3年3月、JAしまね出雲地区本部が整備を進めていたアスパラガスのリースハウスが完成しました。リースハウスには、規模拡大生産者2名、新規就農者1名が入植し、それぞれが販売金額1,000万のアスパラガスの中核的担い手を目指します。

JAしまね出雲アスパラガス部会（部会設立：H13年、部会員：40名）は、栽培面積6.8ha（うち施設面積5.5ha／26名）、販売量55.6t、販売金額66,887千円と県内の規模を誇っています。

このほど、アスパラガス産地ビジョン（平成29年度策定）に掲げている「栽培面積10ha、販売金額1億円」を目指すとともに、新規就農者の初期投資の軽減を図るため、第2期リースハウス65aが完成しました。

これまでもJAしまね出雲地区本部では、リースハウスを平成28年、29年の2年間に、国、県事業等を活用して87aを整備しましたが、規模拡大希望者、新規就農者の要請に応えるため、第2期の整備が進められたものです。

入植した規模拡大生産者は「この機会を契機に雇用者を確保し、安定的な経営を目指したい」「自分を含めた2名体制でのアスパラガス栽培に向かえる」と今後の意気込みを語っています。

また、リース料金の仕組みは整備年を含め3年間据え置かれ、その後、JA等からのリース料支援も活用しながら12年にわたり負担することとなっています。

このように、リースハウスによる就農を支援する仕組みは、新たな担い手を確保するとともに、規模拡大を円滑に進める有効な手段となっています。

今後とも普及部では、新規就農者が安心して栽培が出来る環境を整え、所得が確保できるよう支援を強化していきたいと考えています。



完成したリースハウス

担当者	出雲地域振興第二課	古川 武志	TEL0853-30-5600
-----	-----------	-------	-----------------